

# 地元の名産ハマグリ<sup>かい</sup>の貝殻を使った、大評判の動物ストラップ。

はなしょうぶ <sup>かい</sup>  
花菖蒲の会 (公社) 全国シルバー人材センター事業協会 (三重県桑名市)



地元の名産ハマグリで小物作りにチャレンジ。

手先を器用に動かしながら、貝殻にちりめん布を貼り付けていきます。出来上がった作品は、ウサギ、ライオンなど動物顔のストラップ。自分の趣味を生かせる喜びが、笑顔に表れていました。

「花菖蒲の会」は、平成21年、桑名市シルバー人材センターの女性会員の交流の場、情報交換の場として結成されました。月に2度ほどシルバー人材センターに集まって、そ

れぞれの会員が自分の趣味や特技を生かし、様々な作品を作っています。

作製活動で当初手がけていたのは、編み物や縫い物の作品だけでした。ある時、「桑名名産のハマグリを使って何か作品を作れないか」と考えたのが、今人気の動物顔のストラップを作ることになったきっかけです。

手始めに季節に合わせた貝殻（かいびな）や貝兜（かいがぶと）を作りましたが、二年中作れるものがあれば」と試行錯誤した結果、「貝殻の形を顔に見立て、動物にしてみよう」と思い付いたのです。

地域の市場・ショップや新聞各紙で話題に。

桑名名産のハマグリで作った動物ストラップは、パンダやライオン、ウサギなど十数種類。大きさも表情も違つので、世界に一つしかない作品です。

桑名の商店街として発展した名物朝市や「くわなまちの駅」、各種イベントでは、お客様からかわいいと大好評です。また、地域の新聞各紙や「月刊シルバー人材センター」でも紹介されました。

「県外から来られた方に、『桑名市にこういうものがあるんだ』と知っていただくことが地域貢献になると思うんです。多くの方に喜ばれていると知って、私たち会員の生きがいや意欲にもつながっています」と、代表の加藤さんは話してくれました。

子供たちに作り方を伝え多世代交流の架け橋に。

現在の創作活動を継続し、より活性化させるために「花菖蒲の会」が課題としているのは、会員を増やすこと。そして、これまで以上に作品の幅を広げていくことです。人気になる作品を生み出したこと

で、今後への期待もさらに高まっています。

「イベント時や『くわなまちの駅』での作品の販売は、ずっと続けていきたいですね。そして、地域の子供たちにも作り方を伝えて、多世代交流の場にしていければと思っています」と、加藤さん。

桑名名産を生かし、桑名を広く知らせ、桑名の子供たちに親しまれる。「花菖蒲の会」の活動は、地域活性化に役立っています。

